

栄村交流通信

Vol. 3

「栄」の名前を縁に、長年にわたり交流が続いている長野県栄村と栄区。今年はお互いの友好関係の記念すべき年となりました。栄村との交流の様子をご紹介します。



＜『長野県栄村』と『横浜市栄区』の友好交流協定を締結しました！＞

20年以上の交流を続けている栄区と栄村ですが、今までは友好協定などの正式な締結は行っていませんでした。転機は平成23年3月12日に栄村を襲った大地震でした。区民の皆様による被災への義援金募集や、栄村知り隊事業の開始、栄村アンテナショップ（ガーデンアソシエ）の開設など、交流が再び活発化し、両自治体の正式な“友好交流協定”の締結を行う機運が高まりました。そして、ついに、平成25年11月2日（土）に開催された栄区民まつりにおいて、友好協定が締結されました。

友好協定を結ぶにあたり、栄村知り隊事業に参加した栄区の子ども32人が「栄こども親善大使」として、栄村の子ども達とともに作成した“友好旗”をお披露目し、協定締結の橋渡しをしてくれました。

この締結を機に、より多くの栄区民が栄村へ訪れるような広報活動の充実や、栄区で開催されるイベントなどにおける栄村観光物産展の開催等、出展機会の拡大を支援していきます。



【友好協定の内容】

横浜市栄区—長野県栄村 友好交流協定書

横浜市栄区と長野県栄村は、同じ「栄」の名を縁として、平成4年に開始した小学生同士の相互訪問事業を契機に、これまで様々な交流を続けており、今後も区民及び村民による将来にわたる交流を図り、両自治体及び住民相互の友好関係、協力関係を増進し、もって相互の発展をめざし、次の事項につき合意する。

- 1 栄区及び栄村は、相互の交流及び協力関係を促進することを共通の目標とする。
- 2 栄区及び栄村は、前項の目的を達成するため、相互の自治体及び住民を主体とする交流・協力を行う。
- 3 具体的な事業や交流計画については、今後協議し定めることとする。

< 『栄こども親善大使』 が栄区と長野県栄村を縁結び！ >

友好交流協定締結にあたっては、『栄村知り隊～栄こども親善大使～』が大活躍しました。

“長野県栄村”の自然や文化などを体験する『栄村知り隊』事業に参加した栄区の小学生が、9月28日（土）から29日（日）まで栄村を訪れ、友好交流協定イベントを行いました。

○尾仲栄区長、『栄こども親善大使』にミッションを課す！

『栄村知り隊』事業に参加した子どもたちを、尾仲区長が『栄こども親善大使』に任命し、栄区と栄村の友好の証となるものを作ってほしい、とミッションを伝えました。

親善大使になった子どもたちは、栄区出身のアーティスト、高橋寛行さんの協力を得て、友好の証となる友好旗を作成することになりました。



○栄区と栄村の子どもたちがミッション遂行の相談！



親善大使たちは、それぞれの手形を押した友好旗を作成しました。そして、『栄村知り隊』として栄村を訪れた際に、栄村の子どもたちにも親善大使となって一緒に旗を完成してくれるようお願いしました。

栄村の子どもたちも、親善大使として手形を押して、友好旗を完成させました。

こうした子どもたちの活躍により、無事友好交流協定が締結されました！

『栄村知り隊』事業での栄村との交流や、栄村を紹介したパネル展を、平成26年1月17日から31日まで、区役所本館1階ロビーにて行う予定です。

完成した友好旗も展示しますので、ぜひ見に来てください。



<小菅ヶ谷地区連合町内会自治会が栄村を訪問>

小菅ヶ谷地区連合町内会自治会では、昨年の宮城県石巻市への被災地視察に続き、本年8月に栄村を訪問しましたので、事務局の涌井さんから視察の様子を伺いました。

参加メンバーは、町内会役員をはじめ民生委員、各種団体から総勢30名を超えました。視察当日は、栄村役場において島田茂樹栄村長から村の概要及び平成23年3月12日に栄村を襲った長野県北部地震の状況などの説明を受け、その後、役場職員のご案内により、村内各地の被災地と復旧状況の現地視察をしました。

視察の中では、参加メンバーに声をかけてくださる村民の方もいらっしゃり、被災当時のご苦労談をうかがうことができたほか、当時の栄区民からの支援に対する感謝の言葉もいただきました。

参加者の皆さんからは、現地を訪れ実際に見聞きすることにより、防災の備えや、いざというときの共助の重要性を改めて痛感し、地域での取り組みに生かしたい、との声が多く出され、実りある視察になりました。

<栄区音楽協会特別事業 栄村との交流>

栄区音楽協会では、復興支援と「音楽で交流」を目的として、『栄村コンサートツアー』と『栄太鼓の招待』を行いました。会長の三木さんから、この2つの事業についてお話を伺いました。

○栄村コンサートツアー

8月21日から22日まで、栄区音楽協会を主体とした有志メンバー19人が栄村を訪問し、コンサートを行いました。

到着後、農家で栄村の家庭料理による歓迎を受け、その後、特別養護老人ホームで、民謡とマジック&マンドリンのコンサートを行いました。「入居者が演奏に合わせて一緒に歌う等、普段見られない生きいきした表情をしていました。」と関係者からコメントをいただきました。翌日は、秋山小学校でコンサートを行いました。同小の児童は4人。また未就学の2人の児童と保護者など、地域の方も大勢来てくれました。子どもたちが物怖じせず一緒に歌ってくれたことなどに、とても感激しました。

「音楽で交流」が実現し、栄村の皆さんも参加者の皆さんにも満足していただけたのは、何よりの成果でした。

○栄太鼓、栄区民芸術祭に特別出演！

栄村には、小中学生が所属する栄ふるさと太鼓があります。『栄太鼓』は、栄ふるさと太鼓を卒業した高校生や、大人になっても太鼓を続けたい、という思いを持った人たちにより、結成されたそうです。

今回、11月9日に開催した器楽の祭典に栄太鼓の女性メンバー6人を招待し、演奏を行っていただきました。太鼓を叩きながらの華麗な動きと、太鼓に合わせた威勢のよい掛け声に、観客の皆さんも感動されたのではないのでしょうか。



平成25年11月発行 横浜市栄区役所 ☎894-8181(代表)

編集・発行:広報相談係

☎894-8335

友好交流協定について:庶務係

☎894-8312

文化交流について:生涯学習支援係

☎894-8395